

はじめに

- ご購入時の最初の施工については、販売店にご相談ください。
- ここに示したご注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して取り扱いを間違えた場合、死亡または重症を負う可能性がある危険な状況を引き起こすことがあります。

注意

この表示を無視して取り扱いを間違えた場合、負傷または物的損害が発生する危険な状況を引き起こすことがあります。

施工上のご注意

警告

- 風による影響を受けやすい場所での使用は、風圧によりクレガーレ・RIENAが飛散する恐れがありますので、施工の可否や飛散防止の方法などについてメーカーにご相談ください。

【風の影響を受けやすい場所】

- ※必ずご相談ください。
- バルコニー周囲の手すりに風の吹き込むすき間がある場合
- 戸建住宅の屋上
- ルーフバルコニーなど、大面積で使用する場合
- 高層住宅のバルコニー
- その他、風による影響を受けると考えられる場所
- 避難ハッチの上には施工しないでください。
- 「P1レンガタイプ」「P2クロスレンガタイプ」「P5タイルタイプ」「スロープ材」は、風による影響を受けやすいため、戸建て住宅の屋上、及びマンションのバルコニーには使用できません。

注意

- 駐車場や駐輪場など、自動車、自転車、オートバイ、重量のある台車などが通る場所には使用しないでください。
- 切断・敷設の際は施工手順のとおり行い、指詰め・手指の切り傷・はさみこみ・切り粉による目の負傷に注意して、施工してください。
- クレガーレ・RIENAを切断する際はコンパネなどを敷き、床面に傷がつかないように作業してください。床面を傷つけますと、漏水の原因となる恐れがあります。
- クレガーレ・RIENAを連結する際、ハンマーで叩くとタイルが割れる場合があります。ご注意ください。
- 床表面がウレタン防水の場合は、クレガーレの設置可否がありますので、お問い合わせください。
- 端部カバー材を切断した際は、カエリがないよう必ずヤスリ等で切断面を丸く仕上げてください。カエリがありますと、切り傷などのケガの原因になります。
- 施工後は、必ず残材の整理・清掃を行ってください。残材が残っていると、排水溝に詰まったり、床面を傷めたりします。
- 床面を傷つけたり破損した場合は、必ず施工された工務店・住宅会社・防水処理業者に連絡してください。
- 撤去を伴う修繕工事の際には、端部カバー材の取り外しが必要になることがあります。一度撤去した端部カバー材を再利用することはできません。再設置の際には、あらためて端部カバー材の購入が必要となります。（また施工に使用するプチルテープの跡が残る場合があります）

使用上のご注意

警告

- 本製品の上で、物を燃やしたり加熱したりすると、製品が燃えたり変形したりしますので、絶対にしないでください。

注意

＜歩行に関して＞

- 雨のあとや散水のあとは、表面が滑りやすくなりますので、歩行には十分ご注意ください。
- 履き物によっては表面が滑りやすくなりますので、歩行には十分ご注意ください。
- 夏の高温のもとでは、表面が高温になり、素足で歩くとやけどをする恐れがありますので、履き物を着用の上、歩行してください。

＜破損・汚れに関して＞

- タイルが割れた場合には、すみやかに掃除してください。タイルの破片により、足などを切る恐れがあります。また防水層を傷めることで、漏水の原因となる恐れがあります。
- クレガーレ・RIENAの上に物を落とさないようにしてください。衝撃でタイルが割れる原因となります。
- クレガーレ・RIENAに灯油・ガソリン・有機溶剤などが付着した場合には、放置せずすぐに拭き取ってください。

お手入れについて

＜汚れたとき＞

- ぞうきんで水拭きするか、スポンジやブラシで水洗いしてください。汚れがひどいときは中性洗剤で洗い流した後、洗剤分を残さないように水洗いしてください。カビ、コケが発生した場合は、次亜塩素酸系洗剤で浸け置き洗いを行ってください。

＜ゴミやホコリが詰まったとき＞

- 小さいゴミやホコリは、掃除機で吸い取ってください。ゴミが気になる場合は、水で洗い流してください。クレガーレ・RIENA本体を取り外して水洗いすることもできます。

＜割れたり破損したとき＞

- 破損した部分を取り外し、新しいものと交換してください。特にタイルが割れた場合は、破片でケガをしたり、バルコニーの下地を傷つける恐れがあるので、すぐに破損部を掃除し、破片を取り除いてください。